

長野市障害者基本計画の中間見直しに係る経過について

1 長野市障害者基本計画庁内推進会議の開催

長野市障害者基本計画を推進するに当たり、庁内の関係各課との連携を図りながら協議を行うため、長野市障害者基本計画庁内推進会議を5月29日及び7月3日に開催した。

- (1) 基本計画の進捗状況の確認・評価について今後継続して実施することを依頼し、基本計画の推進に対する意見・要望・提言を求めた。
- (2) 第1回会議で基本計画の第3編「各論」に掲載されている事業ごとに、担当課が点検・評価することを依頼
- (3) 障害者権利専門部会とユニバーサルデザイン専門部会を6月25日に開催して、専門的な研究、協議、調整等を継続することを依頼
 - ア 障害者権利専門部会 [職員課、職員研修所、人権・男女共同参画課 他]
障害者差別解消法の施行に伴う体制の整備及び諸課題に関する協議等について
 - イ ユニバーサルデザイン専門部会 [庶務課、道路課、都市計画課、建築課 他]
基本目標の一つである、ユニバーサルデザインのまちづくりの推進についての諸課題の協議等について
- (4) 第2回会議で事業ごとに担当課が点検・評価したものを取りまとめて報告し、長野市障害者基本計画推進部会（長野市障害ふくしネット）に提出することを了承

2 長野市障害者基本計画推進部会の開催

基本計画が定める計画の進捗状況の確認・評価及び計画の見直しについて、長野市障害者基本計画推進部会（長野市障害ふくしネット）を5月12日、6月3日、7月14日に開催した。

- (1) 第1回会議で年度内に基本計画の中間見直しの会議を10回実施することを決定
- (2) 第2回会議で各種アンケートの実施方法を説明し、内容の調整を実施
- (3) 第2回会議で第3編「各論」に掲載されている事業について説明
- (4) 第3回会議で、事業ごとに担当課が点検・評価したものを取りまとめて報告し、長野市障害者基本計画推進部会で点検・評価することを依頼

3 点検・評価の概要

(1) 第3編「各論」に掲載されている事業ごとに、点検・評価用の「項目別計画シート」を作成した。

ア 計画書に記載されている担当課名、事業名、事業内容

イ 現在までの評価

(ア) ◎ … 十分な効果をあげている。

事業が住民へのサービスとして定着している

事業を利用する住民の率が多い 事業を利用する住民の満足度が高い

(イ) ○ … 一定の効果をあげている。

当初の目標には届かないが、一定の効果をあげている

効果も上がっているが、課題も残る

事業を実施しているが、更に努力が必要である

(ウ) × … 効果が得られていない。

計画をしたが事業がスタートしていない

制度改正で事業を中止した 代替で他の事業に移行した

ウ 評価の根拠・実績数値等

実績の内容及び上記評価の理由を記載

エ 今後の方向性

拡充、継続、縮小、廃止予定、廃止済み、新規から選択

オ 今後の施策の方向性及びその根拠

カ 基本計画に記載する内容の変更（案）

(2) 5月29日長野市障害者基本計画庁内推進会議で点検・評価用の「項目別計画シート」作成を担当課に依頼、6月25日の同会議で取りまとめたものを報告した。

(3) 7月14日長野市障害者基本計画推進部会（長野市障害ふくしネット）会議で、点検・評価用の「項目別計画シート」を提出、8月を目途に同会議で点検・評価することを依頼した。

(4) アンケートの実施

7月3日から7月13日を期間としてアンケート調査を実施した。

結果を長野市障害者基本計画推進部会等に報告し、評価・見直しに取り入れていく。

ア 市民アンケート 1,000 人

イ 障害者アンケート 3,500 人

ウ 障害者団体アンケート 12 団体

エ 事業所アンケート 60 事業所

(5) 障害者団体等に対するヒアリング

7月16日から障害者団体等に対してヒアリング調査を実施中

結果を長野市障害者基本計画推進部会等に報告し、評価・見直しに取り入れていく。